

様式第1号

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

① 第三者評価機関名

一般財団法人 大阪保育運動センター

② 施設・事業所情報

名称：あおぞら保育園		種別：保育所	
代表者氏名：理事長 北野 勝子 園長 中川 多榮子		定員（利用人数）：75人（74人）	名
所在地：〒678-0232 兵庫県赤穂市中広 1709-3			
TEL 0791-45-0739 FAX 0791-56-5075		ホームページ： www.aozora-ako.net Email info@aozora-ako.net	
【施設・事業所の概要】			
開設年月日：2016年4月1日			
経営法人・設置主体（法人名）：社会福祉法人 赤穂あおぞら会			
職員数	常勤職員： 8 名	非常勤職員：6時間以上 9 名 6時間未満 8 名	名
専門職員	(専門職の名称)	名	
	保育士・調理師・栄養士		
施設・設備の概要	(居室数)	(設備等)	
	0/1/2/3/4/5/各保育室 ランチルーム 調理室 事務室 応接室		

③ 理念・基本方針

・地域に開かれた保育所として活動し、人と人とのかかわりを通して、地域社会の活性化に寄与するよう努めます。
 ・子どもたちが、地域や大人に受け入れられ、愛されている心地よさを感じながら生活する環境をつくります。自己肯定感を育み、遊ぶ力、考える力、楽しむ力などを育てるように工夫します。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

・100人を超える地域の人たちが保育園を「支える会」として朝7時～夜8時まで警備をしたり、植木などの栽培にも協力されているなど地域に支えられながら保育園の運営がされています。
 ・延長保育を夜8時まで実施していますが、必要な保護者については当日でも受け付けるなど柔軟な対応をして保護者の願いに応えています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成 30 年 9 月 28 日 (契約日) ~ 平成 31 年 3 月 9 日 (評価結果確定日)
受審回数 (前回の受審時期)	1回 (平成 30 年度)

⑥総評

- ※ 当評価機関は独自に在園児保護者アンケートを実施し、評価の参考にしています。
- ※ 全国社会福祉協議会の評価基準ガイドライン改定に伴って、兵庫県の評価基準も2016年度から改定されました。評価項目ごとの「a・b・c」の評価は、兵庫県の評価基準と判断基準に従っています。
 - 「a」判断基準（取組）を全て実施している
 - 「b」判断基準（取組）の一部を実施している
 - 「c」判断基準（取組）のいずれも実施していない

◇特に評価の高い点

設立の経緯は現園長が埼玉県で共同保育所を立ち上げ認可園として運営してきた経験をもとに夫の転勤とともに赤穂に転居してきました。当地での若い保育士との出会いをきっかけとなり自宅の1階を保育園に開放し2004年に無認可保育としてスタートしました。13年が経過する中、園児数が増え、50名になったことから、認可申請を行い2016年4月に赤穂市初の民間保育園が、定員75名でスタートしました。設立3年になりますが現在待機している子どもがかなりいる状態です。

赤穂市の状況は人口48000人、赤穂市立保育所は6か所あり、90名、60名2か所、45名が3か所公立に入所している子ども達は300名です。開所時間は7：30～18：00—3か所、7：30～19：00—3か所、土曜日は6カ所中1か所のみ18：00まで、他は12：00までとなっており、働く保護者にとって保育時間など実態に合わない状況があります。

あおぞら保育園は保育開園時間は7：00～20：00までと保護者が安心して預けられています。また一時保育については「それぞれの事情に応じて預かってもらえるという良さがある」という意見が当評価機関が実施した保護者アンケートの中に見られました。

保育方針は「保護者が安心して子どもを預け、相談できるアットホームな雰囲気を大事にします。」とあり、保育園の役割である女性が働くことを支え、かつ育児への援助を大切にしていることが利用者の喜びになっていることがわかります。

認可以前から働きつづけている経験豊かな職員たちもいる職員集団で意欲的に働いている姿がうかがえました。

赤穂市初めての民間の保育園誕生ということが地域の方々に希望と喜びをもたらしました。

高齢化していく地域にあって子ども達の施設が新しく生まれたこと、未来社会の希望です。地域の方々は設立の際に資金的にも援助をしてきました。開園後は、ボランティアとして子どもたちが安全に送迎できるよう駐車場の警備に早朝から、夕刻は最後の20時まで毎日立って子ども達を見守っています。きゅうりやトマト、芋ほり等ができるよう栽培の援助、保育では絵本の読み聞かせ他、玄関、保育園の周りには四季折々に草花、鉢植え等が飾られ、保育園を様々な形で支えています。100名あまりの方々が「支える会」を組織し活躍しています。

当評価機関が実施した保護者アンケートに「給食は充実していますか」の設問に対し、100パーセントが「はい」という回答でした。また送迎の際の情報交換についても100パーセント「はい」と答えており、保護者の高い評価が見られます。

初の民間保育園に地域の方々の期待が寄せられている保育園です

◇改善を求められる点

*開園して3年目を迎え、職員集団の入れ替わりもなく落ち着いてきています。あおぞら保育園の理念・方針を一層、職員に周知し、保育園の保育指針にそった全体計画を、職員が参画し策定する中で、一人一人の職員が保育の質の向上に繋げていくことを期待します。

*職員集団の組織を確立するために、管理者体制の在り方も問われてきます。保育のあり方と組織体制作りを進めるリーダーシップを発揮する管理者体制の確立を望みます。

*保育内容の標準化のために、あおぞら保育園の職員像や全体計画などをまとめた『職員ハンドブック』を職員が参画して作成することを望みます。職員間の連携を生かし、職員の参画による作成が保育の質を高めていくことにつながり、誰もがあおぞら保育園の保育理念に基づいた保育実践できることを期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

認可保育園になって3年。知らないことも多く、その都度対応に迫られていた気がします。今回、第三者評価を受け、課題が明らかになったので、現在少しずつですが、指摘事項の改善と見通しを持った体制づくりを行っています。保育の質を上げるため、職員集団の質の向上と地域の貢献について、管理職の果たす役割をどう果たすか検討し、実行していきたいと考えています。丁寧なご指導ありがとうございました。

⑧各評価項目に係る第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

第三者評価結果

※すべての評価細目について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・⑤・c
<p>〈コメント〉理念・基本方針はHPにアップし、「入園のしおり」（重要事項説明書）にも掲載しています。職員、保護者には年度初めに説明をしていますが、職員への周知については職員会議など定期的に周知していく工夫が求められます。</p>		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・⑤・c
<p>〈コメント〉地域の保育ニーズや動向について把握する努力はしています。しかし、社会福祉全体の政策動向などの状況を含めたコスト算定や経営分析は不十分です。今後、理事会等での議論を期待します。</p>		
③	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・⑤・c
<p>〈コメント〉経営課題等については理事会に説明しています。職員に対して経営状況やその改善方向など具体的な内容についての説明・周知は今後の課題になっています。</p>		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
④	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・③
<p>〈コメント〉これまで小規模保育所として個人運営をしてきていたこと、開園して3年目ということもあり組織としての機能が十分機能していなかったことにより中・長期計画の策定が出来ていません。</p> <p>赤穂市の保育需要などを把握しながら、今後、理事会、職員会議等での組織的な中・長期計画の作成を望みます。</p>		
⑤	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・⑤・c
<p>〈コメント〉単年度の事業計画は具体的な内容で策定しています。中・長期計画を策定していないことから園全体の運営・内容等総合的な見通しが不十分です。単年度の事業計画を基本に中・長期的な計画を作成する過程で、単年度の計画も見直し、中・長期計画、単年度計画の整合性のある策定を期待します。</p>		

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・⑤・c
<p>〈コメント〉事業計画については職員会議で説明していますが、実施状況の把握など事業計画の作成段階から職員とともに意見交換などは不十分です。職員の意見等も反映させる組織的なシステムの確立が課題です。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・⑤・c
<p>〈コメント〉「入園のしおり」で入園説明会で説明をしています。保護者が園の事業計画について理解したり、意見を反映していくことなどについて、その趣旨や意味など理解が深まるような資料などの作成を期待します。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・⑤・c
<p>〈コメント〉週案・日案を作成しています。自己評価にも取り組んでいます。系統的・継続的な保育や保育の質の分析など全体計画の見直しなどを職員会議をはじめ、乳児グループ会議、幼児グループ会議などで組織的に検討する体制の確立が求められます。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・⑤・c
<p>〈コメント〉自己評価等の結果について月1回の対策会議（園長・事務長・主任・理事長・理事数名）で議論を通して改善などを明確にしながら、四役会議（園長・事務長・主任・理事長）三役会議（園長・事務長・主任）で見直し深めています。今後、見直した内容を必要に応じて職員と共に改善計画として修正していくことを望みます。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・⑤・c
<p>〈コメント〉園長は当園の前身であった小規模保育所を立ち上げ、地域のニーズを背景に赤穂市で初めての民間保育園を設立するために大きなリーダーシップを発揮しました。組織分担表にも自らの役割を明示しています。園運営・保育の内容・職員集団の確立などリードしていく管理者集団の確立についての検討が課題です。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・⑤・c
<p>〈コメント〉遵守すべき法令などについて理解しています。保育所所長会議等への研修にも参加して深めています。職員への周知とともに関係する法令などの資料は誰もが目につき、活用できる設置場所に配置することを期待します。</p>		

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・⑤・c
<p><コメント>園長は職員会議はじめ、クラス会議等に参加して保育の内容について積極的にかかわっています。乳児リーダー、幼児リーダーの役割を明確にし、保育の質の向上に向けた組織としてのリーダーシップの発揮を望みます。</p>		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・⑤・c
<p><コメント>施設長は職員と面談しながら働きやすい条件や人員不足にも対応し、環境整備に努力しています。経営の状況についてその改善の方向性など検討する体制の確立が課題です。</p>		

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・⑤・c
<p><コメント>必要な職員の配置は確保しており、特に調理員を4人配置するなど努力しています。今後、法人としての福祉人材確保及び育成についての計画作成を期待します。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・⑤・c
<p><コメント>個人面談を通して職員の意見など聞き、把握していますが、めざす職員像が示されていないため、職員が自ら見通しを持ちづらい状況があります。職員ハンドブックを職員とともに作成することを求めます。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a・⑤・c
<p><コメント>職務分担表で責任体制を明示し、有給休暇や健康診断、Tシャツ、給食エプロンの貸与など、福利厚生に取り組んでいます。個人面談などにも取り組んでいます。職員がいつでも相談できる窓口の設置など、職員とともに議論し、一層、働きやすい職場づくりをすることに期待します。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・⑤・c
<p><コメント>職員の個人面談や研修計画は作成していますが、管理職集団として職員が作成した計画の見直しをするなど組織的な取り組みが課題です。</p>		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・⑤・c
<p><コメント>一人一人の研修計画は作成しています。研修参加後レポート報告もし、職員会議で共有しています。「期待する職員像」を作成することで研修計画を実施した成果と課題を明確にすることを期待します。</p>		

19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・⑤・c
<p>〈コメント〉職員の研修計画は作成し、外部研修にも参加しています。職員とともに研修計画の見直しについて検討することを望みます。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・⑤・c
<p>〈コメント〉大学側が作成した実習生のプログラムで対応しています。今後、園として実習生受け入れのためにプログラムの作成を期待します。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・⑤・c
<p>〈コメント〉保育園の理念・基本方針、予算・決算報告はホームページに公開しています。行事のお知らせなど園の近隣や県住などにも配布しながら地域へ知らせています。児童福祉施設としての保育所の役割を地域にむけて積極的に発信していくことを期待します。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・⑤・c
<p>〈コメント〉経理規定に基づき、会計事務所とも契約し、いつでも相談できる体制をとっています。監事による内部監査も年1回実施しています。</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	④・b・c
<p>〈コメント〉保育理念に「地域に開かれた保育所として地域社会の活性化に寄与する」と明記しています。運動会には地域の方々が参加できるよう工夫したり、掲示板には地域のへのお知らせやイベント等掲示しています。老人会の行事にも参加しています。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	④・b・c
<p>〈コメント〉保育ボランティアマニュアルに基づきボランティアを受け入れ、図書館からも絵本読み聞かせを招くなど受け入れています。100人を超えて組織している地域の「支える会」の人たちと協力しながら、子どもたちや職員が快適に過ごせるよう「見守り活動」「園栽培」など環境整備に積極的にかかわっています。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・⑤・c
<p>〈コメント〉赤穂市社会福祉法人連絡会の設立にかかわり、関係機関との連携の広がり役割を果たしています。又、赤穂市の就学前の教育連携連絡会で情報を交換したり、支援学校等とも連携を図っています。今後、職員間の情報の共有の在り方について検討を望みます。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a・⑤・c
<p>〈コメント〉フリーマーケットや夏祭りなど地域の子どもや保護者が参加できる行事を企画したり、運動会は自治会へも案内し、赤穂市の中で唯一の民間保育園とし地域の子育てに役割を果たせるよう努力しています。災害時にはいつでも利用できるよう整備とともにAEDの設置など緊急時での対応もしています。</p>		

27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・⑤・c
<p><コメント>一時預かり事業も当日でも受け入れるなど、当評価機関が実施した保護者アンケートにも「急な対応でも預かってもらって助かっている」など、利用者のニーズに沿った対応をしています。地域の福祉ニーズを継続的に把握しながら地域貢献に繋がる事業の創出に期待します。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・⑤・c
<p><コメント> 職員会議などの議事録で状況の把握や対応は、行われている事を確認しました。職員ハンドブック等の作成で子どもや保護者の理解について周知を図る取り組みが出来ることを期待します。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a・⑤・c
<p><コメント> 虐待防止マニュアルは、整備しています。聞き取り調査の中で、職員への周知の不充分さが、見受けられました。不適切な事案への対応方法なども、周知するとともに職員の研修の実施などを期待します。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・⑤・c
<p><コメント> 入園のしおりや配布物を公共施設に設置したり、暮らしの便利帳に掲載するなど積極的な取り組みをしています。基本方針など具体的な内容も含めて記載することを期待します。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a・⑤・c
<p><コメント> 入園のしおりに記載しています。保護者対応は、どの職員でも対応できるマニュアル作りを望みます。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・⑤・c
<p><コメント> 聞き取り調査の中で口頭での引き継ぎは、確認しました。文章での引き継ぎや利用が終了した、保護者や子どもに対しての具体的な内容を示す文書の作成の取り組みを期待します。</p>		

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・⑤・c
<コメント> 園が実施した行事の後にアンケートの取り組みなどが行っています。 アンケートから把握した内容や課題を検討するシステム作りを期待します。		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・⑤・c
<コメント> 意見箱の設置は確認出来ました。保護者への苦情に対してのフィードバックをする体制の確立を期待します。		

35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・㉞・c
<p><コメント> 相談や意見を述べるアプローチの方法が、懇談とボックスのみになっています。個別懇談などの実施で届きにくい意見の集約など、きめ細かな配慮を期待します。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・㉞・c
<p><コメント> 保護者の意見を職員会議などで話し合ったり、必要に応じて配慮している取り組みは、見受けられました。今後、職員全体と情報の共有化を行う仕組みづくりを期待します。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・㉞・c
<p><コメント> ヒヤリハットや安全チェックなど実施しています。委員会の設置や研修、マニュアルの見直し作業の実施で職員の資質向上を図るなど職員とともに検証する取り組みに期待します。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・㉞・c
<p><コメント> 情報提供は、時期・クラス・人数などのきめ細かな情報提供が行われています。園独自の対応マニュアルの作成と職員への周知などの取り組みを期待します。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。	a・㉞・c
<p><コメント> マニュアル整備はしています。備蓄なども確認しました。海に隣接しているという立地状況から、津波が想定されるが、その為のマニュアルや備蓄など立地状況に対応した取り組みを期待します。</p>		
40	Ⅲ-1-(5)-④ 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知している。	a・㉞・c
<p><コメント> マニュアルの整備はしています。職員の参画によるマニュアルの見直しと周知について期待します。</p>		
41	Ⅲ-1-(5)-⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	a・㉞・c
<p><コメント> マニュアル整備が行われ、それに基づいた避難訓練も実施しています。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
42	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・b・c
<コメント> 組織的に標準的な指標となるハンドブックなどの作成による改善が必要です。		
43	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・b・c
<コメント> 年間計画に対して、クラス会議で見直しが行われています。職員会議等で確認作業や検証が位置づくような組織体制づくりに期待します。		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
44	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a・b・c
<コメント> 個別の指導計画は作成しています。関係機関との連携などケースに基づいて具体的、積極的な働きかけを期待します。又、職員への周知とともに共有化を期待します。		
45	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・b・c
<コメント> クラス会議などで指導計画が見直しが行われています。今後、管理者組織の視点も加わり、園全体として総合的な保育の見直し作業を行うことを期待します。		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
46	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・b・c
<コメント> 保育の実施状況はクラスごとに記録しています。標準的な実施方法に基づいて管理職として指導体制を確立し、全職員間での共有化を期待します。		
47	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・b・c
<コメント> 個人情報保護マニュアルは作成し、保護者への説明をしています。文書管理規定の作成とともに職員への周知を望みます。		

評価対象A 実施する福祉サービスの内容

A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a・b・c
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・b・c
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a・b・c
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a・b・c
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a・b・c
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
A⑩	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・b・c
A-1-(3) 健康管理		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a・b・c
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a・b・c
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	a・b・c
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a・b・c
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a・b・c

特記事項

〈全体計画の編成〉

全体計画は、園の理念や基本方針に基づき、子どもの発達状況をもとに作成されていますが、家庭の状況や子どもが生活する場としての環境整備を踏まえた内容については今後の課題です。さらに全職員参画のもとに編成することを期待します。

〈環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開〉

子ども達の生活環境は採光もよく清潔に保たれていますが、湿度、温度の計測器が整えられていることを意識化し、使用していくことを望みます。
個々の子どもの状況を見ながら習慣形成に配慮していました。子どもの個々の持ち物管理について子どもがわかりやすく、扱いやすい環境整備が必要です。

〈あそび〉

子どもの主体的な活動としてのあそびは、保育室での机上の遊びが多く見られました。吹き抜けの多目的ホールなど有効に活用し、運動遊びを毎日行っています。また近隣の公園等に散歩に出かけています。地域の方々のふれあいの行事も計画され、頻繁に社会体験が得られる機会があります。乳児保育については手づくりの玩具など工夫が見られました。0歳児保育は1：1のかかわりを重要視し、応答的關係を持つよう工夫しています。

〈未満児（ゼロ・1・2）の保育〉

1歳児は個々の子どものあそびが重視されていますが遊びを中心に子どもと子ども同士の関わりや遊びの仲立ちとなることなどの工夫を望みます。保育室の環境として設置しているロッカーの活用、トイレの使い方に工夫を望みます。

〈3歳以上の保育〉

定員に応じた保育室は完備しています。当年の子どもの入園児の数は3歳児23名です。3歳児の保育について、3歳児（9名）4歳児（5名）5歳児（1名）の合同クラス（15名）と3歳児クラス（14名）の2クラスがあります。3歳児保育環境として違った環境が存在しています。職員集団として、管理者として保育環境や発達の視点から今後検討することを期待します。
制作活動などについては個別対応が見られました。個々の作品を互いに見せ、いろいろ子ども自身が気づく機会など集団での取り組みの工夫を望みます。
障害のある子どもに対し個別のかかわりなど関係機関とも連携に努めています。

〈健康管理〉

送迎時の情報交換については保護者アンケートからも好感度が見られました。又、連絡帳を活用し口頭でも伝達しています。睡眠チェック表も記載しています。
保護者には入園の際方針と取り組みを説明しています。
アレルギーについてはガイドラインに沿って適切な取り組みができています。

〈食事〉

保護者アンケート結果は給食内容について高い評価でした。2歳児以上は給食をランチルームで食べています。全員の子どもの座れないので時間差で行っていますが、2歳児に時間内で食べ終わらせるという無理が生じているようでした。保育室の活用など工夫を望みます。職員も子どもとともに指導食として食べながら、子ども達への食の援助を期待します。
食育については野菜等の栽培、収穫からクッキングまでの取り組みを行っています。
調理室の前がランチルームで厨房から子ども達が見渡すことができ、表情も手に取るようにわかります。調理の職員も子どもたちが見えるよい食事風景です。さらに、給食時に子ども達の話聞くなどの工夫をすることを望みます。調理室の環境は下処理室も整備していました。衛生管理上活用することを期待します。

A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a・b・c
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a・b・c
A⑲	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・b・c

特記事項

<p>連絡帳や送迎時の情報交換で連携をとっています。保護者からの相談は保育士および園長が行っています。保護者には園だよりに園長の育児相談のお知らせを掲載しています。相談内容によっては必要な機関に相談できる整えもしています。保育参加はしていますが、保護者会や保護者懇談会はなく、相談内容や支援の状況を記録したものはありません。虐待マニュアルはありますが、職員に周知および研修は実施していません。職員への周知及び研修の実施を望みます。</p>

A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・b・c

特記事項

<p>クラス会議等で振り返りは行っています。職員相互には保育課題について話し合われていますが、組織的に計画が作られ、保育園全体としての課題に向けての取り組みは今後の課題として位置付けられています。当面 職員それぞれが自己評価を行い気づき合ったところです。保育の改善や専門性の向上についてはリーダーを含め計画的に組織的に作っていくことを期待します。</p>
